

大 報 おおだて

1月16日号
(No.357)

編集と発行 大館市役所

12 月

交通事故・件数	25件 (290)
傷者	35人 (354)
死者	0人 (4)
火災・件数	3件 (23)
救急・回数	92回 (1,067)
() 内は58年中の累計	



～冬の風物詩～

アメッコ市

2月11日～12日

会場・大町中央通りほか



(詳しくは次号で)

大空に飛ぶ

長根山85mシヤンツエ



桜庭重寛さん

(赤館町・47歳)

昭和三十一年二月十七日、第三十四回全日本スキー選手権が長根山の八十五メートルシヤンツエを中心に開催されました。当時、花岡工業(現大館工業)の三年生だった私は、大館からは高校生としてただ一人、複合選手として参加。前半のジャンプは二十位と振わなかったものの、後半の距離では沿道の市民や友だちの声援をうけ結局、総合十六位の成績を残せました。地元の開催ということや、周りが一般の強豪ばかりということもあってプレッシャーも相当感じていたので、結果には自分なりに満足でき、素晴らしい経験ができたと思います。

当時の市民のスキー熱は、今とは違った意味でひじょうに高く、会場は多くの観客で立錫の余地もない程度でした。店が立ち、まさに冬のお祭りといった趣きで、子供たちは競技が一段落すると、さんだらに乗って遊んだものです。その後、私は十年連続団体出場ができ、三十五歳で現役生活にピリオドを打ちました。しかし、後進に道を譲った後も、あの大空を翔る爽快さは忘れ難く、今の素晴らしいスキーでもう一度空を飛んでみたいと夢見ています。